

川崎港(東扇島公園周辺)の生きもの調査



川崎港は埋め立てで作られた港で、国際貿易港として利用されており、超大型タンカーから小型船まで、毎日たくさんの船が利用しています。この川崎港にはどのような生きものが生息しているのでしょうか？

みなさんも気軽に足を運べる東扇島公園周辺の海で調査を行ったところ、海草や海藻が8種類、護岸や岩などに付着して生活する付着生物や海底で生活する底生生物が52種類、魚類が19種類確認されました。

ここでは調査の様子や調査でみられた生きもの、水質調査で分かったことなどを紹介していきます。



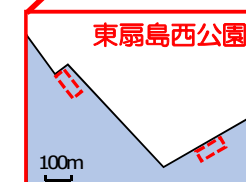
1

調査した場所

調査は東扇島西公園と東扇島東公園で行いました。

調査場所

東扇島東公園
かわさきの浜



公園へのアクセス ※各公園の詳細情報は40ページに記載しています。

東扇島東公園

- バスで
JR川崎駅東口市営バス「川05系統 東扇島循環」<東扇島東公園前>下車。
- 車で
国道132号を東扇島方面に向かって海底トンネルを抜け、国道357号線を東京方面へ。

東扇島西公園

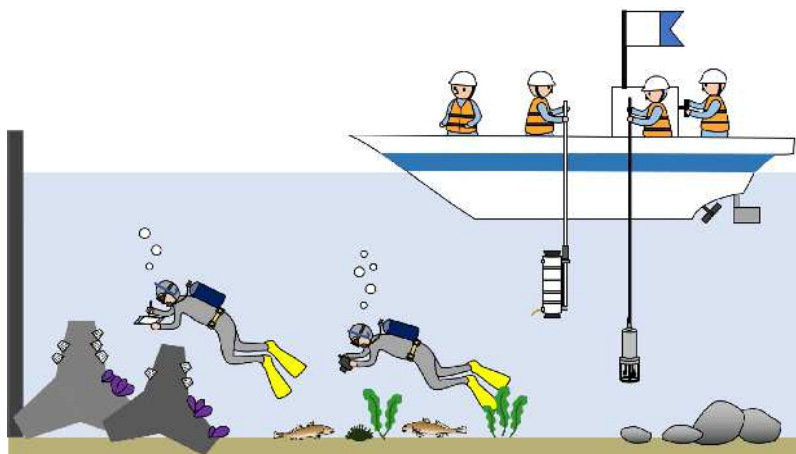
- バスで
JR川崎駅東口市営バス「川07系統 東扇島西公園前行」<東扇島西公園前>下車。
- 車で
国道132号を東扇島方面に向かって海底トンネルを抜け、国道357号線を横浜方面へ。

2

調査のようす

調査の内容は次の通りです。

- ①底生生物調査 ②付着生物調査
- ③潜水観察による魚介類、海草・海藻などの調査
- ④プランクトン調査 ⑤水質調査



調査の様子



①底生生物調査

海底の砂や泥を採取し、その中に住んでいるゴカイや貝などを調べました。



②付着生物調査

護岸や岩などに付着しているフジツボやカニなどを調べました。



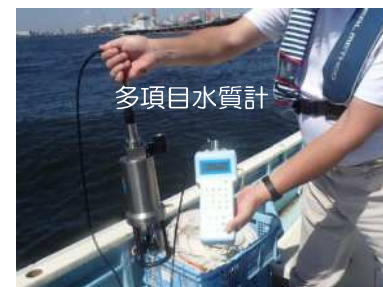
③潜水調査

海の中に潜り、そこに住んでいる魚介類や、生えている海藻などを観察しました。



④プランクトン調査

プランクトンネットを使い、動物プランクトンを採取しました。また、採水器で採水を行い、植物プランクトンも採取しました。



⑤水質調査

水質計を使い、水温や塩分、溶存酸素量(DO)、pH、濁度を観測しました。また、採水器を用いて採水を行い、実験室に持ち帰ってCOD(化学的酸素要求量)の測定を行いました。

